

マイカーの影響 最小限に エコツアー始まる

まつり開幕に合わせ

吉野川市の美郷ほたるまつり実行委とJR四国は、三十一日に始まったほたるまつり(十五日まで)に合わせ、列車と無料シャトルバスを乗り継いでほたるを見物する「美郷ほたるエコツアー」を始めた。マイカーのライトや排ガスから貴重なほたるを守ることが目的で、利用を呼び掛けている。

実行委によると、まつり期間中の毎日午後六〜十時台に四往復運行。徳島駅を五〜七時台に出発する普通・特急列車四本と接続している。午後七時前に徳島駅ホームであった出発式では「美郷ほたるまつりエコツアー」のヘッドマークを付けた列車の前で、美郷の種野小学校六年生八人が「ほたるがたくさん飛んでいます。みんなで見に来てください」とま

無料バス JRに接続

つり開幕を宣言した。ほたるがすむ川田川を清掃している種野小の岡田悠雅君(二)は「ほたるは去年より増えた。ほたるに優しい列車とバスで見に来て」とPRした。問い合わせは美郷ほたる館(電0883(43)2888)か、徳島駅(電0888(622)3100)。



エコツアーの列車の前ではほたるまつり開幕を宣言する種野小児童(徳島駅)

わくわくほたるの群舞

美郷

無数の光跡に 子どもら歓声



ほたるのオスとメスの違いを観察する親子連れ
吉野川市美郷宗田の美郷ほたる館

徳島新聞カルチャー 観賞講座 40人参加

徳島新聞カルチャーセンターのほたる観賞講座が三十一日、ほたるの生息地として国の天然記念物に指定されている吉野川市美郷地区であり、親子連れら約四十人が参加した。

美郷ほたる館では、佐藤正勝館長(六)がほたるの成長の過程や、すみやすい環境、オスとメスの見分け方などについて詳しく説明。「ほたるは日没後、約一時間が見ごろ」などと観賞のポイントを助言した。

この後、近くの川田川で観賞。川べりの草むらを飛び交う無数のほたるに、子どもたちは歓声を上げていた。

家族三人で参加した遠山頭生君(七)は「大松小二年は「いっぱい飛んでいたの、明るくてきれいだった」と喜んでいました。」